



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R6年度 CS通信No.1 R6.5.2



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

今年度も引き続き、コミュニティ・スクール(CS)通信をとおして、地域の人々と関わりのある教育活動や学校運営協議会の事業を紹介していきます。担当は、社会教育推進 DC の藤田がお届けします。

登校時の声かけ運動(西海小学校)



4月8日(月)から12日(金)まで、県青少年健全育成推進員による声かけ運動がありました。

これは、青森県から委嘱を受けた青少年健全育成推進員の方が自主的に行っている活動で、朝7時20分頃から、児童が利用するあじバスが全て到着を完了するまで、約30分間行っています。

この日は、推進員の北嶋さんが、児童玄関前に立って、登校してきた児童一人一人に「おはようございます。」と、声をかけていました。

それに対して児童も元気よくあいさつを返し、気持ちよい朝となっていました。

下校時の見守り活動(舞戸小学校)



4月から11月の毎週水曜日、地域の婦人団体、町内会、社会福祉協議会等の方々が連携・協力し

て、下校する児童の見守り活動を行っています。

校門付近の信号のある横断歩道やJA付近の踏切、上野の五差路などの危ないと思われる所で、午後2時30分頃から子ども達が通過を完了する午後3時頃まで地域の方々が見守ってくれています。

この活動は、西海小学校でも行われており、地域の方々の協力によって子ども達の安全が保たれています。

参観日で学校運営協議会制度の説明会 (鯨ヶ沢中学校)

新年度初の参観日に、校長先生からの依頼を受け、担当の私から保護者のみなさんに学校運営協議会の制度について説明を行いました。

この制度は、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体になって特色ある学校づくりを進めていくもので、町では、令和2年度から取り入れ、今年度で5年目となります。

「学校運営方針を承認する」「学校運営に関する意見を述べる」「学校運営状況を評価する」「地域学校協働活動に関すること」等の役割を説明しました。参加された保護者のみなさんには、最後まで熱心に聞いていただき、ありがとうございました。

学校を取り巻く課題がますます複雑化・困難化している現在は、学校・家庭・地域の協力関係がとて重要ですので、保護者のみなさん、地域の方々のみなさんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

